

勇気は機関車

第12号平成16年7月28日

編集者 池部 徹

続くときは会合等で週に2~3回飲み方が続く。

「いつもおいしいもの食べてよかぬ[↑]」と嫁さんに言われん~それはその通りと思いきや...人間贅沢が続くと、そのすてきな会席料理も刺身も肉も感動がなくなってくるんですよね。人間の欲求とはどんどん増すばかり。ほんと人間の弱いところですよ。いい欲求だといいいのですが。おそらく戦時中の人々が今日の食生活を見れば、ビックリ仰天・ショック死するのではないだろうか？



おじいさんが言っていました。「戦時中、バナナと寿司が腹一杯食べられたら、もう死んでもいいと思っていた。」と...先日新聞に載っていたが、日本の食べ残し(残飯)率は15%程度とのこと。私はそんなものかと疑問であるが、まあ！日本のぜいたくさを考えれば人口の倍2億・5000万位の人がメシを食べるのではと思うのである。つまり、発展途上国にロスなく援助できれば1億人以上の人が助かるかも。

日本人は平和ボケ・飽食の時代の中で節約という概念からかけ離れてきている。自給率の低い日本の食生活はこのままは続かないだろう。いつか配給で列を作る時代が来るとすれば、それなりの心構え・辛抱強さが必要だ。